

◆事務所休館のお知らせ◆

4月5日(月)は午後から書記局会議のため、支部事務所を閉館とさせていただきます。予め、ご了承ください。

江東支部



墨田、江東、江戸川合同編集

東京土建一般労働組合
江東ブロック会議
江東区北砂1-11-4
TEL (3640) 2411
発行者 大勝友二
定価 30円
新聞代は組合費に含まれています

分会総会や保険証の交付は、お済みですか？

①分会総会や保険証の交付

先月号でもお伝えした通り、年度変わりを迎えるにあたって、さまざまなお取組がありま... 各分会での一年の振り返りや次年度の予定の確認(総会)、そして新しい

②確定申告の期間延長

新型コロナウイルスの影響で、今回の確定申告は通常より一か月長い4月15日までとなっています。まだ申告の済んでいない仲間、申告の仕方がよく分からなくて悩んで

③労働保険の年度更新

事業所の労災や雇用保険の更新は4月をまたいでから行われます。該当する事業所へ順次ご案内が届きますが、三密を避けるため、あらかじめ受付日をご指定させ

第66回 江東支部定期大会

とき：令和3年4月11日(日)
ところ：江東支部会館
※令和2年度の取り組みを振り返り、同時に令和3年度に行われる組合活動を確立する大切な場です。各分会からも代表者が参加して開催されます。

あなたの分会の新しい役員の見つけ方は!?

「いつも同じ顔ぶれ」「若い人が見つからない」「いるけど、忙しくて、やってくれそうにない」...どの分会からも聞こえてくる『共通』の悩みです。そこで、4人の方々から、新しい役員の見つけ方の一例をあげてもらいました。自分の分会でも当てはまるような大切な「ヒント」が隠されているかもしれません。

人と関わりを持つには

天沼 昭博 (小名木分会)

寒さ厳しくなる夕暮れ時、帰りのバスに揺られながら外を見た。街を行き交う人のマスク率は100%であり、乗車している人も100%... 乗車している人も100%... 乗車している人も100%

問題であり、今後は... バスルームに「ルージュの伝言」は残されること無く、判をついた紙切れがいきなり机の上に置かれることになるのだ。んー... 考えただけでも恐ろしい。

分会センターを合理的な活動拠点に

中尾 正文 (深七分会)

深七分会も後継者選任に大苦戦です。自営業者が少なくなっており、活動時間も制約され、やっとならうとの仲間を引き出す機会が少ないのが現実です。

とは「の教育はできず、先人はそれを成熟させ伝えてきませんでした。労働組合自体が新しい民主的な組織と活動をどれほど希求してきたか? 組合員が単に投票をして幹部を選ぶ組織運営で良いのかです。つまり、人を選ぶ重要性の基本である「仲間を識る」ことを共有する活動を日常的に追求してきませんでした。

戦後70年以上経っても、「民主主義... 借りに口説いてきましたが、限界に近づいています。つまりどの社会の多くも「自分のために」と「人のために」が両立する行動を十分に担保できていないからでしょう。

じゃ、個々の組合員の交流の努力不足だと総括するのは、個人を責める事になり辛くなります。でも、自然と交流できる環境整備こそが手助けになるのではないのでしょうか?

ではアドレナリンを全開にし、見えぬマスク下を読み取る以外には手が無いのだ。《アベンジャーズ》や《ユリ・ゲラー》のような超能力者、または《伊藤カイジ》のような洞察力に長けたものでなければ勝機にありつけない。人と関わりを持つには、まさに苦境な時代と言えよう。それでも、後継者となる若い世代が何を求め、何を喜びとし、仕事や人生をどう思い描いているのかを探りながら対策していく必要がある。理想ばかり話しても仕方がない。まずはやってみること。失敗を怖がらないこと。そして一番大事なことは、失敗したら「失敗」だと活動者自身が気付き、修正していくことが新たな発想を呼び、次の一手に繋がると言える。やり方を、あれやこれやと難しく考えずに、自分ではなく参加者が楽しい場を作り上げていくことが最高の作戦となるのだろうか☆

に興味を持つ人をすべからず誰でも誘います。その人たちのサークル会場を「サロン」として、「分会センター」と二層化します。つまり、様々な人が集まる所で、人との出会いが楽しくなる空間の用意です。誰でも集える「サロン」では、分会組合員による「労働者協同組合 深七(夢想)」の事業体制を準備しておきます。人が集まり様々な話が行き交う中、プロのアドバイザーには力が入り、会社勤めの組合員を巻き込む情報が増えます。「分会センター」の活性化が、組合員同士の理解を深め、信頼できる人の発見が仲間の幹部推薦に繋がります。合理的な活動拠点としての分会センターを、二層にも三層(まちの駅)にも運用する形態にして、情報の交流が爆発的になされて理解が進み、人材発掘の核装置として役立たせたいと思います。

活動は楽しくが基本

小栗 宏司 (小名木分会)

各分会でも一番はこれ「り」なんてどうかと思

います。親子で船に乗っ

て魚釣り、釣れた魚は船

頭さんが調理してくれま

す。家族が釣った魚で親

御さんは一杯、子供はご

飯を食べてみんなで楽し

めそうです。また、軽ハ

イキング！ 近くの名所

を巡るもよし、公園や里

山で自然に触れ合うのも

良しです。お天気の中、

お弁当を広げてお昼を楽

しめればとも思います。

それが区内でできるの

か、また現地集合で行う

リエーションや、小名木

デーのアナウンス、また

例え、今流行りの「釣

り」なんてどうかと思

どんな活動をしているの

かも知ってもらい、興味

を持って頂ければ嬉しい

です。

今の土建の状況を分か

ってもらった上で、活動

をしていく大切さや、こ

れからの子供達のため

も、「頑張らなければな

らない」ことを理解した

上で、一緒に活動してい

ければ最高ですね。

とにかく毎年、若い世

代の後継者を出している

小名木分会ですが、「分

会活動は楽しく」を基本

に、次なる後継者発掘に

力を注いで行きます！

て前進させていくもので

す。私は常に、自分がい

るその場を「二つのチー

ム」だと認識しながら取

分会リレートーク

富山 純一さん (小名木分会)

分会四役という大役に

抜擢されてからは、分会

教宣部長として臆するこ

となく活動し、人前での

挨拶や発言は素晴らしい

文章まで才能あふれた若

手であります。

マダムキラーな、はに

かみの笑顔からは想像も

つかず、地元じゃ「かな

りの〇〇」で、△◇□

だったたり、チョメチョ

しちゃったりするヤンチ

ヤ坊主さもありですが、

加入1年目にして、この

活動力。この先、分会の

皆が支え、共に活動する

中で、「団結」という更

なる結束を学び、頂を目

指して活動してくれるで

しょう。

そんな彼が今後、分会

仲間と見せるであろう

《小名木分会ジェットス

新しい時代に育った二

ユータイプであり彗星の

ごとく現れ活躍する姿

に、小名木分会では《赤

い彗星」とも《青い巨星

とも言われている、待ち

に待ち望んだ期待の星！

富山純之助くんを紹介

したいと思ひます。

360度」から見

も間違いなしのイケメン

☆ 地元では、若い世代

の仲間も数多く、御姉さ

ん方からも熱い眼差し

と、黄色い声援を浴びる

羨ましくする男でありま

す。

小名木分会の皆さんに

東日本大震災、津波、原発事故

中谷 登志夫 (深北分会)

震災からもう10年に

地域の小学校在閉校

になります。江東支部で

に。なぜならば、広範

も復興支援をしてきた

団に渡って津波の危険

ところですが、被災者

性のある災害危険区域

はそれぞれ傷を負い、

に指定され、多くの入

居るのに放射線の値が高

く、帰ることができな

い場所がまだありま

す。今、コロナ禍で震災

の話題は消えて

しまつと将来を見据え

て案じている。

原子力発電の事故で

避難指示が出た地域で

は、町並みは残ってい

くならぬ話はない

も話にしていない

せて毎年その日を忘

れぬような特集をし

て欲しい気持ちです。

コロナや自然災害に

あっても、「復興」と

いう言葉に耳を傾けて

考えてみようでは有り

ませんか？

『被災地を

わが胸に

きざめけり』

時代は平和になったと

はいえ、「死生観」は

大きく変わりませんで

した。「罪人」の処刑

制度の残酷さはとも

せんね。このように帝

戦前戦後七十七年の笑事

中尾 正文 (深川第七分会)

第一章

(第二回)

室町幕府・戦国時代

このことが徳川慶喜

(第十五代将軍)の伏見

での行動に災いし、そ

の別れの唱歌や大楠公

らが大変だ。これ

「折は大きな事案です。

詩吟の教育で南朝を正

当としてきました。が、

「鎌倉時代」の文永の

「天皇親政」の課題と

勝ったわけではありま

せんね。このように帝

国憲法下の喧伝は強烈

(複雑)でした。

「戦国時代」の平和の

希求は「生活が大変だ

った」の反動でしかな

いとも言われず。戦

は毎年農閑期に行わ

れ、農民たちは雑兵と

して参戦し、戦場での

「略奪」は臨時収入だ

中であつたはず。現

世ではもう会えない」

かともいわれています。

で、死生観は「一人の

死」も日常の出来事と

して受け入れてきたの

でしょう。戦争をも拒

否する悲しみとは、幾

ばくのものか探ってい

きます。(つづく)



木名木分会！中尾正文さん、この教育を！

木名木分会の皆さんに

も、自ら精力的に参加し

てくれる青年です。

(記：天沼昭博)

木名木分会！中尾正文さん、この教育を！